

「感動塾・みちくさ」の活動を見学しました。

広島市安佐北区の青少年野外活動センター（野活 8/1-3）と広島市西区の三滝少年自然の家（三滝 8/20-22）とで行われた感動塾・みちくさの初日の開塾式出席と午後の活動見学を行いました。

野活、三滝ともに今年度のテーマは「水」。講師のご指導のもと、施設の職員や大学生ボランティアの皆さんと一緒に、実験したり観察したりして楽しく学んでいました。

<青少年野外活動センター>

日 時： 8/1（金） 11:00～8/3（日） 14:00

テ ー マ： 「水」

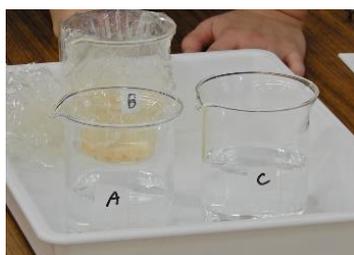
参 加 者： 小学3年生～4年生 28名

- | | | | |
|-----|----|---------|-------------|
| 1日目 | 午前 | 開塾式 | アイスブレイク |
| | | 活動① | 「野活の水」 |
| | 午後 | 活動② | 「雲を作る実験」 |
| | | 活動③ | 「水生生物の観察」 |
| | 夜間 | 活動④ | 「仲間作りゲーム」 |
| 2日目 | 午前 | 活動⑤ | 「大暮養魚場での体験」 |
| | 午後 | 活動⑥ | 「温井ダム見学」 |
| | 夜間 | 活動⑦ | 「キャンプファイア」 |
| 3日目 | 午前 | 活動⑧ | 「竹水鉄砲作り」 |
| | | 活動⑨ | 「水リンピック」 |
| | 午後 | おわりのつどい | 閉塾式 |

■活動①「野活の水」

「野外活動センターの蛇口から出てくる『水』は、どの水でしょう。」
ビーカーに入った3種類の水が各班に配られ、色を観察したり匂いを嗅いだりして予想してみるというものでした。みんな真剣な表情で比べ、どの水が次の1～3の水か、そして野活の水はどれかを意見を出し合っていて考えていました。

- 1, 池の水
- 2, 山から湧いて出る水（湧き水）
- 3, 水道水





■活動②「雲を作る実験」

次に、水の循環の話聞いた後、雲はどこでできるのかをみんなで考えました。「空の高いところ」、「山の上の方」など、口々に意見が出ていました。

雲ができるメカニズムがわかったところで、実際に雲を作る実験にチャレンジしました。

「えー、本当に雲なんてできるの？」と半信半疑の表情を浮かべる参加者の姿も見られました。大学生ボランティアのサポートを受けながら、まずは温度変化を利用して水槽の中に雲を発生させ、続いてペットボトルと簡易的な加圧ポンプを使って気圧の変化による雲づくりにも取り組みました。水槽の中で雲が発生すると「あっ！雲！」「隙間をふさいで！」「できてるできてる！やったー」など、会場のあちらこちらから歓声があがっていました。



<三滝少年自然の家>

日 時： 8/20（水） 10:15～8/22（金） 14:00

テ ー マ： 『『水』のふしぎ発見！感動体験』

参 加 者： 小学4年生～6年生 31名

- 1日目 午前 開塾式 アイスブレイク
午後 活動①「水のふしぎにせまろう」
夜間 活動②「水であそぼう①」
活動③「夏の星空観察」
- 2日目 午前 活動④「水であそぼう②」
午後 活動⑤「水と生き物の関わりをさぐる」
夜間 活動⑥「キャンプファイア」
- 3日目 午前 活動⑦「水を使おう」
活動⑧「まとめ・ふりかえり」
午後 閉塾式

■活動①「水のふしぎにせまろう」

「地球上の水の量はどれくらいあるでしょうか」と講師より問われ、地球儀の上に水のボールが大小表示された3種類の画像の中から、各自予想して、これだと思えるものに手を挙げました。正解発表の後、更に「そのうち、私たちが利用できる水（淡水）はどれくらいあるでしょうか？」との問いかけに、みんなで考え、予想をはるかに超える少なさに、一同驚いていました。



次に、「水」は何でできているか、また、状態も液体や固体等があることなどを教えてもらいました。そして、地球は誕生後氷河期が7回もあったこと、その時生き物はどのように生き延びてきたかなどのお話を聞き、参加者は、生物と水のかかわりについて、思いを巡らせていました。

続いて、「水のふしぎ」にせまる、水の特性の一つ「表面張力」に関する実験にチャレンジしました。表面張力とはどんなものか話を聞いた後、実際に1円玉を水に浮かせて、そこに微量の洗剤を落とすと、表面張力が弱まり、ずっと1円玉が沈む様子を観察しました。



次に、墨を流して絵を描く実験をしました。割りばしの先に墨汁を付けて水面にちょっと乗せると、水面全体に薄く墨汁が広がりました。そこに、つまようじの先に洗剤をつけて、黒く広がった水面にちょっとつくと、墨汁の輪が素早く広がります。これを繰り返して、輪が何重にもなったところで、静かに表面をかき混ぜると、水の流れのような模様ができます。その水面に半紙をかぶせて写し取りました。世界に一つだけの偶然にできた芸術的な模様。教室内、あちらこちらで歓声が上がって、何度もチャレンジしている参加者もいました。



「感動塾・みちくさ」は、子どもたちが身近な生活の中にあるものを題材として、仲間づくりを行い、協力・創意工夫することにより、未知なる物への興味を喚起し感動する心を育むこと、合わせて科学や技術への興味、関心を高めることを目的とした事業であり、1998年度から公益財団法人広島市文化財団との共催で実施しています。

今回参加してくれた皆さんが、この経験を活かし、これからも多くの“気づき”や“感動”と出会いながら、大きく成長していくことを願っています。

(本郷)